

医師と住民と地域の未来へ

公益社団法人地域医療振興協会は、地域医療を支援し、それによって地域の振興を図ることを目的に設立されました。日本全国の地域、そこに住む人々、そして医療に携わる医療人の三者が幸せになれる未来を作っていくため、地域医療振興協会は活動を行っています。

地域医療振興協会 公衆衛生委員会

地域医療振興協会施設における ヘルスプロモーション活動に関する調査 結果報告および各施設の活動紹介

2022年4月～2023年9月にかけて地域医療振興協会が運営する医療・介護施設を対象に行った調査の結果、**全施設、既に様々な活動を実施し、活動の拡充に対しても意欲的**であることがわかりました。本冊子では、結果の概要と各施設の活動の一部を紹介します。

※本調査は、京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野との共同研究として実施しました。



全国85の病院、複合施設、診療所、介護老人保健施設のほか、2つの看護専門学校を運営しています。(2024年9月現在)

**Health
For All**

公益社団法人
地域医療振興協会
Japan Association for Development of Community Medicine
公衆衛生委員会

発行：公益社団法人 地域医療振興協会
公衆衛生委員会
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル7階
Tel:03-6832-2945

公益社団法人
地域医療振興協会
Japan Association for Development of Community Medicine

地域医療振興協会施設における ヘルスプロモーション活動に関する調査

調査趣旨

医療・介護施設は、診療や介護という手段を通じて患者や利用者の健康づくりに寄与しています。しかしそれ以外の場面でも、患者や利用者、職員、あるいは地域住民を対象として、「ヘルスプロモーション活動」と言える事例が多く行われています。本調査は協会施設の皆様に、そのような活動を拾い出し、まずは関心を持っていただくという趣旨で実施しました。

回答に際しては、テーマである「ヘルスプロモーション活動」という言葉をどのように考え、どんな活動を事例として提供しているのか戸惑われたかもしれません。しかしながら、各施設で適切に検討され、まさに「ヘルスプロモーション活動」である良い事例がたくさん集まりました。「ヘルスプロモーション活動」とは医療や介護の従事者はもとより、患者や利用者、地域住民、職員及びその家族を含め、それぞれの立場の人たちが、健康に影響する様々な生活習慣、環境について考え、より良くするための様々なサポートやプロセスを包含するものです。日々の治療や業務の中で多く行われていることと思います。

本調査が、そのような様々な日常の取組を「ヘルスプロモーション活動」としてとらえるきっかけとなり、地域医療の質の向上にもつなげていただけるよう、活動のさらなる拡充を期待したいと思っています。

公衆衛生委員会 委員長 宇田英典

地域医療振興協会の素晴らしい活動をより多くの方に伝えるため、
調査結果を下記の学会でも報告しました。

第14回・15回 JADECUM学術大会
第81回・82回 日本公衆衛生学会総会
第7回 J-HPHカンファレンス
第31回 日本健康教育学会学術大会
第30回 国際HPHカンファレンス・プレ企画

これからもみなさまの活動PRに努めてまいります！



第14回JADECUM学術大会



第82回日本公衆衛生学会総会



撮影：J-HPH監事 廣田憲威

調査の概要

【目的】地域医療の質向上を図る一環として、地域医療振興協会施設におけるヘルスプロモーション活動の推進方策を検討する基礎資料を得ること

【対象】地域医療振興協会が運営する全施設（2022年4月時点 ※複合施設は診療所と老健に分けて実施した）

【方法】①FormsによるWeb調査（病院：2022年4月、診療所・老健：2023年2月）

②内容をより詳細に把握するためのヒアリング調査（病院：2024年8月、診療所・老健：2023年9月）

【調査内容】①活動内容（患者、地域、職員の3対象別選択肢） ②拡充に対する意欲、重要性、自信（10段階自己評価）

③拡充の促進要因・阻害要因（自由記載） ④実施内容の詳細（電話・メールでのヒアリング調査）

【集計解析】①回答を病床数、機能、職員数別に量的に分析 ②自由記載およびインタビュー結果を質的に分析

【回答率】100% 全施設にご協力いただきました！皆様のご協力に感謝申し上げます！

※本調査では、ヘルスプロモーション活動を「病気や障がいの有無に関わらず、すべての人が自分らしく充実した生活を送れるように、さまざまな方法を組み合わせる自らの健康をコントロールし、改善できるようにする取組」と広く定義しました。

結果① 全施設において、様々な活動を既に実施していた

全施設、患者・利用者、地域、職員のいずれかを対象とした活動を既に実施し、主な内容は下記の通りでした。

病院・診療所・老健、共通の内容：

講演会・健康教育・イベント等の開催、自治体との連携

病院：職員のメンタルヘルスや保育支援、患者さんを対象とした入退院相談の充実など

診療所：教材作成、健診の受入れ、校医・園医など

老健：感染症予防対策、リハビリテーションの充実など

施設の種類の別・対象別の活動実施施設数と割合			
	病院(n=25)	診療所 (n=48)	老健 (n=18)
活動の対象	実施施設数 (割合)	実施施設数 (割合)	実施施設数 (割合)
全対象	25 (100.0)	48 (100.0)	18 (100.0)
患者・利用者	24 (96.0)	41 (84.5)	17 (94.4)
地域	24 (96.0)	40 (83.3)	18 (100.0)
職員	25 (100.0)	35 (72.9)	17 (94.4)

結果② 活動拡充に対しても意欲的！診療所と老健は重要性の認識が高め

施設の種類の問わず、活動の拡充に対する意欲は10段階の7と高く、特に診療所と老健は拡充に対する重要性の認識が高い傾向でした。

活動の多くは、日常業務の中で自然に、当たり前のこととして行われている場合が多いことも分かりました。今後、これらの活動にスポットを当てることで、より自信を高めていけるとよいと思います。

活動の拡充に対する意欲・重要性・自信 中央値 (25-75%ile)			
施設の種類の	意欲	重要性	自信
病院 (n=25)	7.00 (5.50-8.00)	7.00 (6.50-9.00)	5.00 (3.00-6.50)
診療所 (n=48)	7.00 (5.00-8.00)	8.00 (7.00-9.00)	5.00 (2.00-6.00)
老健 (n=18)	7.00 (6.25-8.75)	8.00 (6.25-9.75)	5.00 (4.00-6.00)

結果③ 促進要因は、体制づくり&人的支援・人材育成

◆促進要因 右の他に、診療所・老健では「ノウハウ・教材・資材の提供」が、その他「活動に収益性があること」「活動が評価されること」「成功例の共有」等が挙げられました。

◆阻害要因 右の他に、「ヘルスプロモーションに対する理解不足」「活動の意義が理解されにくい」「活動が評価されにくい」等が挙げられました。

本結果をふまえ、公衆衛生委員会では皆さんの活動を支援する方策を検討してまいります。

自由記載・複数回答（67施設が記載 上位3カテゴリーを抜粋）	
順位	促進要因
1	体制づくり（委員会の設置、外部の支援体制など）
2	人的支援・人材育成（実施者・指導者の派遣など）
3	経済的支援（資金援助・活動に対する報酬など）
順位	阻害要因
1	業務負担の増加（人員不足、業務量の増加など）
2	新型コロナウイルスによる制限
3	ノウハウ不足（テーマの設定や内容の吟味）

病院の活動紹介

● = 利用者さん対象の活動 ● = 地域対象の活動 ● = 職員対象の活動

石岡第一病院

- 生活困窮者等への相談活動



児童から高齢者まで、医療保険未加入または経済的な問題を含む療養上、生活上の様々な悩みやご相談に応じ、各種制度や社会資源のご紹介、他機関との連携調整などを通して問題解決のお手伝いをしています。

上野原市立病院

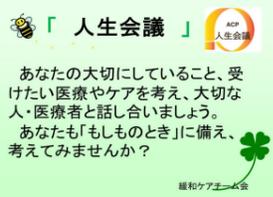
- 健康的な職員食を毎日3食提供



患者さんと同じ健康食を、お手頃価格で3食提供しています。特に**朝食は170円**！忙しく不規則な生活になりがちな医療職にとって、3度の食事は働く活力の源になります。

公立丹南病院

- ACPの実践



あなたの大切にしていること、受けたい医療やケアを考え、大切な人・医療者と話し合しましょう。あなたも「もしものとき」に備え、考えてみませんか？

丹南病院独自のACP用紙を作成し、毎年全職員がACPを実施しています。チームを作って定期的に活動しています。鯖江市と協力し、普及活動も行っています。

村立東海病院

- 地域住民向け健康公開講座の開催



地域住民の皆様との交流を深めて、より皆様に信頼され、安心して医療・看護を受けていただけるよう、定期的に健康公開講座を行っています。

十勝いけだ地域医療センター

- 地域住民・商店街・自治体と協同での夏祭りの開催



開かれた病院作りの一環として開始！管理者による講演会や院内では認知症診断、骨密度測定等が、院外では子供向け看護師体験、消防士体験があり、予防の意識づけもできていると感じる。

湯沢町保健医療センター

- 休日の院内託児、病児・病後児保育の取り組み



若い看護師が出産後できるだけ早くに復職し、継続して勤務できるよう、職員向けの院内託児所を設置しています。日曜日でも出向することができるよう、日曜保育も行っています！

飯塚市立病院

- 糖尿病教室の開催



病院の医師・糖尿病指導療法士が中心となり、平日はほぼ毎日、教室を開催しています。外部の歯科衛生士さんにも参画していただき、歯周病の話もしていただいています。現在は感染対策のため入院患者様限定ですが、通常は一般の方も参加できます。

越前町国民健康保険織田病院

- 児童デイサービスセンター「すてっぷ」の運営



地域の障がい児、発達・学習面で支援が必要なお子さんに対しリハビリと療育を実施しています。リハビリ職、看護師、保育士、元教諭など多職種の職員を配置しきめ細かいサービスの提供を心掛けています。

市立恵那病院

- マンモサンデーの開催



ピンクリボン月間である10月の日曜日に乳がん検診と子宮頸がん検診をセットで行っています。平日に忙しくて検診が受けられない女性のために機会を設けています。

台東区立台東病院

- STOP！錠剤粉砕薬剤師の取組
- 防煙教室の開催



● 嚥下状況の確認等多職種連携の一手間で大きな**医療安全と患者満足**を！

● 欧米の喫煙防止プログラムの知見を取り入れ、友人の誘いを断る**ライフスキル**を身に付ける内容にしています。

西吾妻福祉病院

- 初動負荷トレーニングマシンの活用



地域住民と職員の健康の維持増進を目的に、院内に4台の初動負荷トレーニングマシンを設置・開放し、運動を促しています。腰痛予防やリラックス効果もあります。

横須賀市立うまち病院

- 「心臓リハビリテーション教室」の開催



当院の「心臓リハビリテーション教室」では、ハイキングやゴルフなどの運動を取り入れた「心臓リハビリテーション」を定期開催しています。運動によって健康で幸せな生活を送り、同じ病を持つ周りの方を支援できる識見、即ちリハビリテーションです。

伊豆今井浜病院

- あたたかい職員食の提供



職員食も患者様と同じように、適温の食事を提供しています。朝食・昼食・夕食いつでも適温！あたたかい食事＆冷たいデザートでホッとできるひと時を♡

公立久米島病院

- 島の文化・風習を取り入れた看護の提供



久米島病院の看護師の多くは、県外出身者のため、入職時に島の自然・歴史・風習や行政についての研修を行い、患者さんとのコミュニケーションを円滑にして、看護の質の向上を目指しています。

市立大村市民病院

- 出前講座の開催



自治会や地域で活動しているサークルからの講演依頼が多く、様々な年代に対応できるように13の講座を作成し、開催しています。現在、新型コロナで休止していますが、また再開したいと考えております。

東京北医療センター

- デジタルサイネージを活用した健康教育



暑熱順化
汗をかき能力が高まり汗のもととなる血液量が増えます。

病院の紹介や健康情報を届けるオリジナル動画を作成し、院内での待ち時間に見ただけできるよう、サイネージを用いて発信しています。顔が見える病院作りにも役立っています。

日光市民病院

- 職員のメンタルヘルスケア



全職員にいきいきと仕事をいただけるよう、入職後1、3、6か月目、その後もこまめに担当者を変えて面談を行っています。産業医とも連携し、短時間の面談を重ねることで、職員の想いを汲み上げやすい環境づくりを心がけています。

横須賀市立市民病院

- ボランティアコンサートの開催



地域のゴスペル、フルート、大正琴、フーダンス等のサークルを迎えて開催しています。患者さんとその家族、地域の方々院内でくつろぎ、交流できる場になっています。現在コロナで休止していますが、また再開したいと考えています。

伊東市民病院

- 職員への保健指導と無料採血・スポーツ施設との連携



職員の健康診断の結果をまとめ、院内全体に周知し健康に対する行動変容を促したり、特定保健指導対象者に対して無料で採血・評価しています。スポーツジムの紹介もしています。

公立黒川病院

- 多職種連携で行う認知症カフェ・サポーター養成の取組



黒川病院では、大和町の住民、行政、医療、福祉が連携して認知症カフェ・サポーター養成講座を行っています。カフェでは、住民が毎回美味しいコーヒーを淹れてくれます。

市立奈良病院

- 入退院支援課の設置



入退院支援課では、患者さんが安心・納得し再び住み慣れた地域で生活できるように、地域関係者との連携を推進し切れ目のない支援を行っています。

東京ベイ・浦安市川医療センター

- オンライン母親学級
- 東京ベイWeb通信



● 妊婦さんの安全を担保し、安定した出産前教育が行え、メリット大！

● HP上での情報発信は、患者さんだけでなく、職員にとっても病院の魅力発見、業務理解につながります！

練馬光が丘病院

- 区民健康講座の開催



高齢者の多い地域であり、健康増進や最新の病気の知識を理解してもらうために、練馬区の後援で区民健康講座を毎年複数回実施し、地域住民とのコミュニケーションを図っています。

Health For All

公益社団法人
MED 地域医療振興協会
Japan Association for Development of Community Medicine
公衆衛生委員会

診療所・複合施設の活動

● = 利用者さん対象の活動 ● = 地域対象の活動 ● = 職員対象の活動

明日香村国保診療所

- 村との連携
- 研修医教育

村の保健福祉部門との連携を図りながら、在宅医療の充実を目指すとともに、魅力的な地域を活かして学生や研修医教育にも力を注いでいます。小さなお子様からお年寄りまで笑顔で帰ってもらえるような診療を目指しています。

揖斐川町春日診療所

- 地域完結型のケア

医療、保健、福祉からなる複合施設の利点を生かして、介護が必要な方にはケアマネジャーがデイサービスと連携を密にして切れ目なくサポート。地域完結型のケアを実現しています。また、揖斐川町の保健師とともに予防接種や健診、高齢者保健などにも力を入れています。

恵那市国保山岡診療所

- 地域に寄り添い患者さんと一緒に盛り立てる運営

恵那市山岡地区の唯一の診療所として、市立恵那病院と連携し外来診療、訪問診療を行っています。「何かあるから来る」のではなく、「何もなければ確認に行く」という視点の医療と、地域に寄り添い患者さんと一緒に盛り立てる運営を行っています。

上河津診療所

- オンライン診療の実施

オンライン診療を開始して1年が経ちました。開始当初は不安でしたが、定期受診の方だけでなく、感染症の療養中の方、仕事で忙しい方や足が不自由な方々にもご利用いただき、昨年度の利用件数は130件でした。年齢層も20～80代と幅広く、多くの方に浸透されてきました。

古里診療所

- リハビリの充実

古里地区の唯一の医科診療所として、住民だけでなく、町を訪れる皆さまの健康と安全に貢献しています。高齢者が多い地域のため、リハビリの器具を充実させ、電気を当てながらおしゃべりができるサロンのようなコミュニケーションの場となっています。専用の送迎バスも運行しています。

竹富町立黒島診療所

- 地域行事や健康イベントへの参加・協力

豊年祭、防災訓練時などへ救護班として参加するほか、小中学校の運動会、高齢者・婦人の運動能力維持向上のためのトレーニング（月1回）に参加しています。その他、独居高齢者との食事会（昼食、月1回、食事後に昔話をお聞かす）を行っています。

伊豆下田診療所

- 最新の治療法を取り入れた「何でも相談できる診療所」

特に「コウノメソッド」による認知症治療、江部式糖質制限を取り入れた糖尿病食療療法、夏井式湿潤療法による創傷治療、「ファッシアイドロリリース」による疼痛治療の4分野に力を入れ、最新情報を取り入れた外来診療を行っています。

揖斐川町久瀬診療所

- ACPの実践

高齢者世帯や独居が多い地域のため、ACP（Advance Care Planning）の実践に力を入れています。自分らしく生きるために「もしもに備えて」きっかけ作りのお手伝いをし、ご本人を主体に家族や診療所・施設・居宅が利用者様の意思を共有することでよりよい支援に繋がると考えています。

おおい町保健・医療・福祉総合施設

- 被災者医療支援活動

日本医師会医療支援チームの一員として、能登半島地震の被災者医療支援活動を行いました。3日間という短い期間の活動でしたが、被災地の医療支援に携われたことを誇りに思うとともに、今後、万一、当地域で大災害が発生した場合に、今回の経験を活かしていきたいと思っています。

君津市国保小櫃診療所

- ACPの啓発

ACP（Advance Care Planning）に力を入れており、公民館での講演会や、地域の回覧を活用し、患者様の思いや考えをご家族と共有するプロセスの大切さを広めています。今までに約50件の相談会を実施しています。

シティタワー診療所

- よろず相談窓口の設置と小児在宅医療

がんのよろず相談、介護・認知症のご相談、女性の健康問題、障がいがあるお子さまについてのご相談など幅広い相談窓口を設けています。特に、小児在宅医療に注力し、障害のあるお子さんの家庭生活を、在宅医療を通じてサポートしています。

竹富町立竹富診療所

- 島民と一体となった診療

島民にとって唯一の医療機関となります。特に夜間は石垣島への定期船も無くなるため、安心して島で生活していただけるよう、島民の皆様を支えていけたらと思っています。島民の皆様も、医師住宅庭の清掃を手伝ってくれるなど、島民と一体となった診療をしています。

いなずさ診療所

- 「かかりつけ医」としての取り組み

かかりつけの患者様について、健康診断の結果や健康管理に関するご相談に応じています。介護・保健・福祉サービスの利用に関するご相談にも応じています。患者さんとの距離が近く、世間話を交えながら、近所のおじさん、おばさんを診る、そんな診療を行っています。

揖斐川町谷汲中央診療所

- 地域ケア会議への積極的参加

定期的に行政や地域担当者との連携ができる機会として、地域ケア会議には毎回参加しています。地域の皆様の健康問題から、サポートが必要な個々の方々の相談まで幅広く話し合いをしています。少しでも皆様がトラブルなく過ごせるように！

おきたまフラワークリニック

- 地域包括診療（健康相談等の実施）

当クリニックでは、健康相談及び予防接種に係る相談を実施しています。介護支援専門員及び相談支援員が、みなさまからの相談に対応しています。訪問診療、オンライン診療、往診も行っています。

国頭村立東部へき地診療所

- 健康相談・予防接種等の実施

国頭村4地区（奥・楚洲・安波・安田）を対象とした、保健医療サービス（診療・健康相談・予防接種等）を行い、地域住民の方々に安心して健やかな生活を営んでいただく拠り所として地域に密着したより良い地域医療の確保に努めています。

志摩市前島診療所

- 地域包括ケアの提供

地域住民の皆様が安心して暮らしを営み、次の世代に地域の宝を継承できることを願い、私たちは医療・保健・福祉の連携のもとに地域住民の暮らしを支援する包括ケアを提供していきます。

地域包括ケアセンターいぶき

- 若手医師の育成

地域に根ざした医療（地域医療、在宅医療）、家族ぐるみの医療（家庭医療）、患者さんを全人的に診る医療（総合医療、全人的医療）を目指すとともに、地域医療を目指す若い医師を育成しています。全国にプライマリケアを実践できる医師を増やすことを目標としています。

揖斐川町いびがわ診療所

- 認知症サポーター養成研修

地元の高等学校の生徒を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。当診療所の認知症サポート医と、認知症地域支援推進員の看護師が講師を務めました。認知症になっても、慣れ親しんだ地域で暮らしてもらえるよう、地域で支えるための話をしました。若い世代の中から一人でも多くのサポーターが増えることを期待しています。

今泉記念館ゆきあかり診療所

- 訪問診療の充実と禁煙外来の推進

総合診療の診療所として、安心して自宅で暮らせるよう、赤ちゃんからお年寄りの方まで、身近に起こりうる健康問題に対応し、訪問診療に力を注いでいます。また、禁煙外来希望の患者さんを積極的に受け入れております。

女川町地域医療センター

- 地域と連携したACPの推進

町の医療介護福祉連携促進事業として、センター主催の『ACP研修会』を行いました。協会の望月崇紘先生を講師として迎え、町内の保健師、介護従事者等が参加し、地域全体でACPを学ぶ良い機会となりました。今後も継続的に女川ACPIに取り組んでいきたいと思っています。

六合診療所

- 「お達者ミニディ」始めました

診療所の休診の時間を利用して、どなたでも無料で参加できるミニディを月2回程度開催しています。疾患予防、介護予防だけでなく気軽に相談できる場の提供や、住民の方々の社会参加を促し、地域全体の活性化を目的としています。

志摩市立国保浜島診療所

- 物理療法の器具を活用したフレイル予防

当診療所では、物理療法の器具を充実させ、お一人お一人の身体機能やニーズに合ったフレイル予防に力を入れております。

公設宮代福祉医療センター

- 地域の健康診断・予防接種の受入れ

地域の健康を守る公的医療機関として、予防医療（健康診断・人間ドック・予防接種など）に尽力し、町民の皆様の健康づくりを総合的にサポートしています。医療、介護、子育てなど、さまざまな相談に対応できる公的機関を目指しています。

関市国保津保川診療所

- 地域全体で研修医や学生を受入れ

毎年たくさんの研修医や学生さんが経験を積みに来てくださいます。自分の未来を描きながら、目標を持って来られます。私達は目をキラキラ輝かせた若い先生方から元気とパワーをもらっています。地域の患者様も同じ気持ちでいらっしやるようです。

Health For All

公益社団法人
MED 地域医療振興協会
Japan Association for Development of Community Medicine
公衆衛生委員会

診療所・複合施設の活動（続き）

● = 利用者さん対象の活動 ● = 地域対象の活動 ● = 職員対象の活動

「ヘルスプロモーション」○ or × クイズ



<問題>

患者・利用者さん、みなさんの家族や友人を含む地域住民、そしてみなさん自身や職場の仲間が、どうしたらもっと幸せになれるかを考えるだけでは「ヘルスプロモーション」とは言えない。

→答えは10ページ



千早赤阪村国民健康保険診療所

● オンライン栄養指導



当診療所では、通いなれた診療所で管理栄養士の食事指導を受けられるオンライン栄養指導を開始しました。ビデオ通話に不慣れな高齢の患者さんにも安心してお話いただけるよう、診療所スタッフがサポートしています。

奈良市立月ヶ瀬診療所

● 行政との連携と地域包括ケア



地区に唯一の診療所で、地区の行政・介護・保健・福祉・学校などと連携した地域包括ケアを目指しています。小さい子供からお年寄りまで幅広い年齢層の患者さんが来られるため、家族環境をしっかりと把握すること、村の保健室として居心地の良い診療所づくりを心がけています。

西浅井地区診療所

● 人生会議(ACP)の実践



にしあざい診療所では、ACPチームを編成し人生会議を実践しています。独自の「もしもの時のこころづもりシート」を作成し、電子カルテ上で情報共有しています。啓発ポスターや動画も作成し、待合室や健康教室で普及に役立てています。

日光市立奥日光診療所

● 多言語での情報提供による外国人観光客への対応

English	
中文	
한국어	
español	
português	

地域住民の皆様への診療や往診等に加え、地域在住の外国人や来訪される外国人観光客の皆様にも安心して受診していただけるよう、多言語での情報提供を行い、対応しています。

山口市徳地診療所

● 多職種の学生や研修医の教育



徳地診療所では、地域医療教育、多職種の学生や研修医の教育にも力を入れており「(医療人を)地域で育て、地域と共に育つ」を合言葉に受け入れを行っています。2023年度は、研修医6名、看護師22名、診療看護師1名、その他の学生22名を受け入れました。

山中温泉ぬくもり診療所

● 温泉プールでの運動療法の実施



当診療所のリハビリテーションの最大の特徴は、山中温泉の源泉を活用したプール療法です。昭和17年から代々受け継いできた伝統のある温泉のプールで、心身両面の機能改善の効果が期待できます。山中温泉の恵みを生かして、地域住民の健康長寿に貢献したいと考えています。

婦恋村国保診療所

● 健診・予防接種の受入れと健康イベントの開催協力



婦恋村は、健診・集団予防接種などを受け入れる施設が少ないため、積極的に行っています。その他、自治体や保健所等と連携し、地域の健康イベントの開催協力をしています。

奈良市立柳生診療所

● 地域包括支援センターや小中学校等との連携



地域包括支援センターや地域の保健師、小中学校と連携し、乳幼児から高齢者まで、地域のかかりつけ医として介入しています。一人一人のお話をゆくりと伺い、ともに考え、ともに悲しみ、そしてともに喜び、それぞれの方に適したきめ細やかな医療を心がけていきたいと思っています。

戸田診療所

● 地域の「通いの場」と連携した健康づくり活動



沼津市の中でも高齢化率が高い戸田において、高齢者が高齢者を支えるシステム作りを進めている団体「居場所くらの家」と連携して、フレイル予防や健康講話等の健康づくり活動を行っています。

日光市立小来川診療所

● 各種健診・検診の受入れ、各種ワクチン接種の実施



日光市のはつらつ健診や胃がんハイリスク検診を受け入れています。各種予防接種も実施しております。地域の皆さんの健康を診守る身近な相談相手として、信頼いただけるよう努めています。

米原市地域包括医療福祉センター

● 病児病後児保育と児童発達支援



病気で集団保育が困難な場合の一時保育を行っています。また、発達に気がかりのある子どもとその保護者に対する療育を行っています。子どもたち一人ひとりの発達を支え、地域で豊かに暮らすことができるよう、集団での子育てを支援します。

与那国町診療所

● 訪問診療・訪問看護の開始



島で唯一の診療所であり、沖縄本島、石垣島の医療機関と密な連携を取りながら、島民の為だけでなく、公共性の高い医療を行えるよう努めています。老々介護の世帯が増え続ける中、訪問診療・訪問看護を始めました。今まで以上に地域に『信頼』され『安心』を届けられる診療所を目指します。

鳥羽市立長岡診療所

● がん検診・住民健診の積極的受入れ



普段受診することがない若年層にもアプローチができ、病気の早期発見につながるため、積極的に行っています。

奈良市立興東・田原診療所

● 地域に密着した地域医療



この地区は「1次医療の空白地区」となっていた為、これまで病気になった際には地区外の医療機関を受診されておられました。車を運転されない高齢の方にも受診していただけるよう、オープンしました。市立奈良病院と連携をとりながら、地域に密着したより良い地域医療の確保に努めてまいります。

西伊豆町安良里診療所

● 地域との連携



県下で最も高齢化が進んだ地域のかかりつけ医として、小児から高齢者まで幅広く住民のお役にたてる医療機関を目指しています。同じ伊豆半島内の他の医療機関や地域の諸機関とも連携しながら、住民に身近な医療施設として地域に密着した医療を行っています。

磐梯町保健医療福祉センター

● 地域包括ケア ● 地域医療を担う医師の育成



「健康増進から保健、医療、福祉まで」包括ケアを実践しています。また、地域医療に継続性を持たせるため、地域医療を担う医師の育成、研修を行っています。年間約35万人の観光客に係る医療の対応も担っています。

真鶴町国保診療所

● 町民と協働した「町の保健室」活動



地域のドラッグストアと連携した食環境整備や、子育て世代対象の子育てサークルや性教育ワークショップ、中高年対象の骨密度測定会や地域サロンへの参加、町歩きなど、健康をテーマに、地域のつながりを深めて町を元気にする、町民参加型の保健活動を多面的に展開しています。

六ヶ所村医療センター

● ウォーキングアプリを活用した職員の健康意識の強化



『病気にならなからかかると病気がない病院内へ』というコンセプトのもと、まずは職員の健康意識を強化するため、ウォーキングアプリを活用した運動支援を行っています。将来的に職員→患者さん→村民全体へ展開できればと思っています。

豊頃町立豊頃医院

● 感染防止対策の強化



当医院では、患者さんやご家族、院内の職員、来院者などに対し、感染症の危険から守るため、感染防止対策等に積極的に取り組んでいます。また、当院外来において、受診歴の有無に関わらず、発熱その他感染症を疑わせるような症状を呈する患者さんの受入れを行います。

奈良市立都祁診療所

● 多職種連携会議の開催



限られたエリアであるため、顔の見える関係がよい医療にとって非常に重要であると考え、地域包括支援センターと連携して地区内全ての医療介護施設が参加する会を開催しています。形式的なものではなく、中身のある関わり、医療行政の協力体制や文化の形成が必要だと思っています。

西伊豆町田子診療所

● フレイル予防の取組



一人暮らし高齢者の自立支援にフレイル予防が大切と考え、フレイル予防体操等の取組を行っています。新型コロナウイルス対策のため一時中断していましたが、6月から再開しました。町づくり協力隊の理学療法士さんの協力を得て、昼休みの時間帯に待合室で楽しくやっています。

東通村診療所 白糖診療所

● 外来での尿中ナトリウム測定と栄養指導



当診療所では、医師が必要と判断した外来患者さんの尿ナトリウムを測定し、その結果を用いた栄養指導を行っています。食事内容の聞き取りと共にナトリウムの結果を示すことで、より塩分の多さを実感することができ、患者さんも納得していただけます。

山北町立山北診療所

● 町の「かかりつけ医」



子供からお年寄りまで、年齢・診療科の壁にとらわれない幅広い総合診療を行っています。地域診療所ということで内科慢性期の管理や予防にも力を入れています。山北町内の保育園の嘱託医も受けています。

Health For All

公益社団法人 地域医療振興協会
Japan Association for Development of Community Medicine

公衆衛生委員会

介護老人保健施設の活動

● = 利用者さん対象の活動 ● = 地域対象の活動 ● = 職員対象の活動

< 8ページの答え >



答えは **X**
 どうしたらもっと幸せになれるかを
 考えるだけでも「ヘルスプロモーション」です！



→理由は下へ！

Health For All

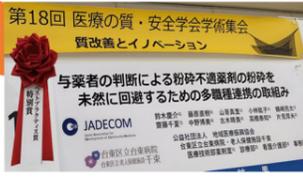
公益社団法人
地域医療振興協会
 Japan Association for Development of Community Medicine
公衆衛生委員会

綾川町・あやがわ
 ● 地域住民との交流と情報提供



家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応しています。自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担っています。また、評価・情報公開を積極的に進め、サービスの向上に努めています。

台東区 千束
 ● 多職種連携による粉砕不適薬剤の粉砕回避の取組



利用者さんを気遣ってお薬を潰すことで効果が過剰に発現し、不利益が生じることがあります。多職種連携で安全に服薬する取組を行っています。本取組は、医療の質・安全学会でベストプラクティス賞を頂きました！

六ヶ所村 ニッコウキスゲ
 ● 通りハでのフレイル予防啓発活動



加齢や病気などで低下した心身の機能の維持向上のために、個人に合わせた支援を多職種共同で行っています。今年度から、通所利用者とその家族を対象としたフレイル予防の啓発活動に取り組んでいます。

池田町・びりか
 ● 食事レク・おやつレクの開催



当施設では、月1回の行事食のほか、お寿司の出前やお酒も楽しめる「食事レク」や、カップ麺や中華まん、ハンバーガー、フライドポテトなどを提供する「おやつレク」を開催しています。普段食べることないジャンキーなおやつは毎年好評です！

宮代町・六花
 ● 専門スタッフが連携したリハビリの提供



個々の身体機能に合わせた自宅での自主トレーニング指導を行っているほか、言語聴覚士による話す、聞く、食べる等のリハビリも行っています。敷地内には『リハビリガーデン』を設置しており、季節の花や農作物を育てています。

磐梯町・りんどう
 ● パワーリハビリ、外出支援など、リハビリの充実



マシンを利用して、それぞれの状況に合わせた個別のリハビリができるパワーリハビリテーションや、季節に合わせて紅葉見学やお花見に出かける外出支援など、充実したリハビリテーションを行っています。

米原市・いびき
 ● 地域の諸機関との連携



温かい家庭的な雰囲気を作るよう努力しています。「家に帰る」ことを目標としつつも、多様な選択肢を選ぶように考えています。リハビリに力を注ぎ、自宅に帰った際にも安心して暮らせるよう、訪問診療・訪問看護、他事業所との連携を図り、フォローアップできる体制を整えています。

富谷市 富谷の郷
 ● リハビリの充実
 ● 行政・地域との連携



回復期～生活期のリハビリを行う方を対象に、通所、短期入所、長期入所の利用を選択していただき、自宅で安心した生活が送れるよう支援をしています。行政や各種事業所、地域住民との交流の機会を持ち、地域に根差した施設運営を目指していきます。

女川町・のぞみ
 ● 裁縫・粘土細工等の手芸を活用したリハビリテーションの充実



入所者お一人お一人の生活歴を把握し、得意分野や能力に合った作業活動を通してリハビリテーションを行っています。心身機能の維持向上だけでなく、「生きがい作り」にも役立っています。

伊東市・みはらし
 ● 地元医師会・在宅介護にかかる事業者との連携



地元医師会や伊東市民病院の協力を得ながら、在宅介護にかかる事業者と連携することで、病気や障害から復帰するサポートを行っています。施設の入り口には足湯があり、市民に開放しています。

北区 さくらの杜
 ● フレイル予防とリハビリテーションの充実



施設2階にある運動機能訓練室では、機械を使ってリハビリを行っています。基本動作の回復や維持、及び障害の悪化予防が目的です。各利用者の健康状態によって最適な運動プログラムを組み、準備運動から始まり機械を使ってのリハビリまで楽しく行なっています。

おおい町・なごみ
 ● なごみ喫茶の取組



毎月1回、地域のケーキ屋さんからケーキを配達していただき、喫茶室を開いています。地域の小学生が考案したゼリーなど、趣向を凝らしたケーキがいただけます。普段とは違う通所の雰囲気を利用者様と職員が一緒に楽しむことができます。

東通村 のはなしょうぶ
 ● 一般介護予防事業へのリハ職の参加



地域包括支援センターからの依頼を受け、当施設のリハ職が年に数回、村内数地区の集会所にお邪魔し、体力測定や100歳体操を実施しています。一般的なTUGや握力の評価に加え、リハ職ならではの評価として、個人ごとの歩行の動画を撮って、歩行状態を参加者へフィードバックしています。

揖斐川町 山びこの郷
 ● 認知症初期集中支援チームの編成



揖斐広域連合からの委託を受け、認知症初期集中支援チームを編成し、自宅訪問、本人・家族への教育的支援、生活環境改善支援、小学生を含むサポーター養成、などを行っています。訪問診療を施設内で行っているため、速やかに受診に繋げることができます。

志摩町 志摩の里
 ● 利用者様個々に合った継続的な支援の提供



当施設の理念である「住み慣れた地域で幸福に暮らしたい」「明るく安心して暮らせる」を目指し、利用者様個々に合った継続的な支援を行うことで、地域全体の医療・福祉の支えの一つとなっていきたいと思っております。

日光市・にっこう
 ● 経口摂取と「食べる楽しさ」を重視したリハ介護



経口摂取100%を目指し、漫然とペースト食にならないよう、食形態を中心に様々な工夫をしています。また、食べ方や食事の雰囲気をサポートしたり、糖尿病等持病のある方には検査データと照らしてメリハリをつけたりして、お寿司をはじめいろいろな物を食べて頂き、「食べる楽しさ」を感じてもらっています。

恵那市 ひまわり
 ● リハビリの充実と地域の文化祭への参加



ご利用者さまの身体状況に合わせて、起き上がり、立ち上がり、座位、歩行など基本となる動作の維持・向上を目指したリハビリのほか、壁面装飾等の作業活動も行っています。町が主催する文化祭にも作品を出品しています。

市川市 市川ゆうゆう
 ● 地域との連携



市川ゆうゆうでは、地域との連携を深めた質の高い介護を展開しています。地域包括支援センターと共催での認知症カフェを開催したり、要介護申請や介護老人保健施設まで送り着けないがケアを必要としている方へのアウトリーチを目指しています。

みなさんの「ヘルスプロモーション」は何ですか？

ヘルスプロモーションは、「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス*」と定義されています。プロセスなので、自分や周囲の人が **幸せになれる**ことを考えたり、工夫を凝らしたり、幸せを意識したり、幸せになれる行動をおこしたり、どんなことでもOKです。場所も、仕事場、家庭、学校、地域、趣味の場、入所・入院中なら施設や病院、どこでもOKです。周囲の方々の幸せにするために、まずはみなさん自身の「ヘルスプロモーション」を探してみませんか？ *日本ヘルスプロモーション学会

